

平成30年度

4年生学習定着度に関する調査結果について

本年度は9月に「学習定着度に関する調査」が実施されました。その結果とそれを受けた取り組みについてお知らせします。

調査の目的は、児童の学力の状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育の成果と課題を明確にし、学力向上の取り組みを充実させることにあります。調査の内容は、教科に関する調査（国語，算数）です。

○…よかった項目 ●…課題があった項目

【 国語：福岡市平均と同程度である 】

- 読むこと（文学的文章）
- 言語（漢字）についての知識・理解・技能

文学的文章を読み取る力についてはほぼ福岡市の平均と同程度であるという結果が出ました。読書の時間や日頃の読書の成果が現れてきたと考えます。国語辞典の使い方や漢字ができていない児童がいました。漢字も練習した読み方や使い方だとできますが、同じ読み方をする漢字の使い分けや場面が変わったり文章の中で問われると難しいようです。また、国語辞典も日頃から使い慣れていまいと難しいようです。今後は日頃から漢字を使う習慣や国語辞典が身近な物になるように指導していきます。また、読書の時間を活用して説明的文章や、新聞記事など読むことの幅を広げ、読むことに対する関心を高めていきます。

【 算数：福岡市平均と比べ努力を要する 】

- 数量や図形にについての知識・理解
- 数学的な考え方

「数の構成や、数のしくみ」については福岡市の平均とほぼ同じで、しっかり身につけているようです。計算ドリル等できちんと練習した成果が出ていると思われます。しかしながら、「かさ・長さ・時間・重さ・」や「三角定規の角・分度器・三角形」の問題が難しかったようです。これらの単元は計算のように繰り返して教科書で勉強する単元ではないので、しばらくしないと忘れてしまっているようです。単位と単位の関係や図形の特徴を復習しておく必要があるようです。今後は、学習したことを忘れないように定期的に前の学習を復習することと文章題の読み取りに慣れることに力を入れていきます。

平成30年度

5年生学習定着度に関する調査結果について

本年度は9月に「学習定着度に関する調査」が実施されました。その結果とそれを受けた取り組みについてお知らせします。

調査の目的は、児童の学力の状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育の成果と課題を明確にし、学力向上の取り組みを充実させることにあります。調査の内容は、教科に関する調査（国語，算数）です。

○…よかった項目 ●…課題があった項目

【 国語：福岡市平均と同程度である 】

- 読むこと（文学的文章）
- 言語（漢字）についての知識・理解・技能

文学的文章を読み取る力についてはほぼ福岡市の平均と同程度であるという結果が出ました。読書の時間や日頃の読書の成果が現れてきたと考えます。しかし、言語や漢字ができていない児童が多くいました。漢字も練習した読み方や使い方だとできますが、場面が変わったり文章の中で問われたりすると難しいようです。日頃から生活の中でも漢字や慣用句など意識して使うように指導していきます。また、読書の時間を活用して説明的文章や、新聞記事など読むことの幅を広げ、読むことに対する関心を高めていきます。

【 算数：福岡市平均と比べ努力を要する 】

- 数量や図形にについての技能
- 数学的な考え方

「数の構成や、数の性質」については福岡市の平均を超え、しっかり身につけているようです。計算ドリル等できちんと練習した成果が出ていると思われます。しかしながら、「小数や分数の計算」については、小数点のつけ方や帯分数と真分数の関係を忘れていた児童が結構いました。「面積、体積」についても公式や単位の変換の理解がしっかり定着してないところがありました。また、「三角定規の角・平行と垂直」は三角定規の角の大きさや垂直平行の関係を忘れていた児童がいました。今後は、学習したことを忘れないように定期的に前の学習を復習することと文章題の読み取りに慣れることに力を入れていきます。